

BROAD RETAX

広帯域1/4波長位相板●ブロードリタックス

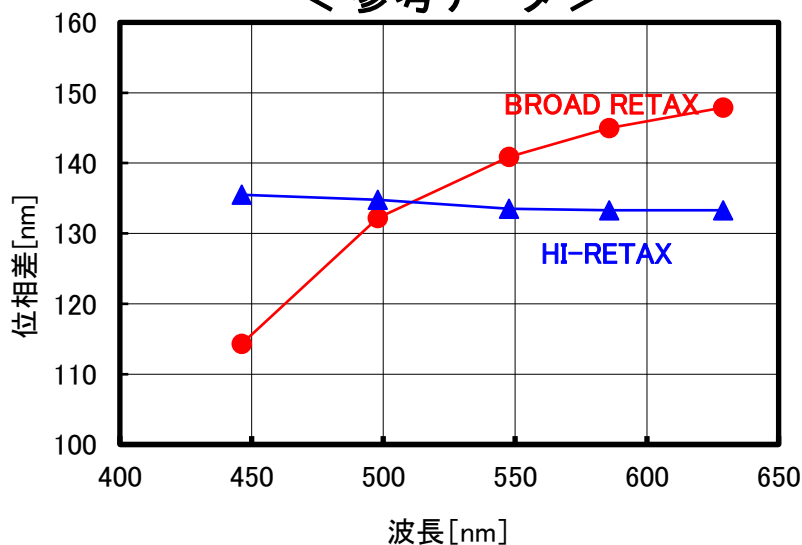


直線偏光を入射すると可視光全域において
ほぼ1/4の位相差になるフィルムタイプの波長位相板

特長

- 直線偏光を入射すると可視光全域においてほぼ1/4λの位相差になります。
図のように、特定波長用波長板のHI-RETAXは波長が変わっても位相差は変化しませんが、BROAD RETAXは可視光域のどの波長においてもほぼ1/4の位相差が得られるので、波長によって位相差が変化します。
- 樹脂フィルムを使用しているため、大きさや形状に自由度が増します。

< 参考データ >



※王子計測機器製楕円偏光測定装置KOBRA-WPRIにて測定

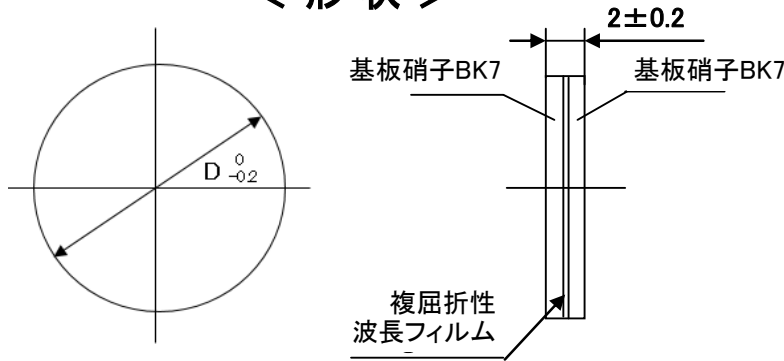
ブロードリタックスは、可視光域において1/4の位相差になる複屈折性を持たせた波長フィルムを、光学特性が優れた光学硝子の基板に挟み込んで接合した波長位相板です。

標準品

< 品番 >

B-RETAX-1/4λ-D
直径
10、20、30

< 形状 >



< 標準仕様 >

硝子基板素材	BK7
寸法(直径)	Φ 10mm
	Φ 20mm
	Φ 30mm
厚さ	2mm
位相差	λ/4±13nm λ=450nm、500nm、550nm、 590nm、630nm
反射防止膜	両面マルチコート
光学軸マーク	なし

BROAD RETAXとPOLAX(偏光板)を組合わせて 広帯域円偏光板を提供できます

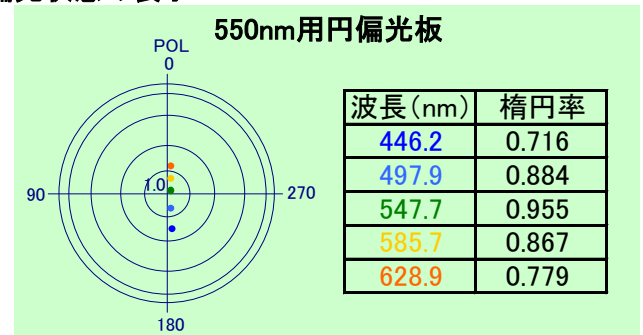
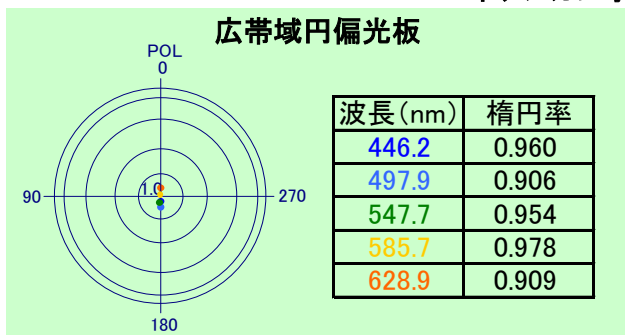
BROAD RETAXは可視光域のどの波長においてもほぼ1/4の位相差が得られますので、BROAD RETAXと偏光板と組合わせることによって、広帯域円偏光板になります。

円偏光板は、入射光線を円偏光の光線として反射面に反射させて、再びこの円偏光板に入射させた場合、反射してきた光線を通して遮断するアイソレーター機能を持っています。

広帯域円偏光板(BROAD RETAXと偏光板を組合わせたもの)は、可視光全域において反射光を遮断するため、特定波長の1/4波長板を組合わせた従来の円偏光板よりもアイソレーター機能が向上します。

参考データは、偏光状態を示しています。楕円率が1の場合が円偏光になります。広帯域円偏光板は、波長が変わっても楕円率が1に近く、ほぼ円偏光になります。しかし、特定波長の1/4波長板を組合わせた円偏光板は、特定波長からはずれるに従って楕円率が1から離れて行きますので、円偏光が崩れ楕円偏光になります。

< 参考データ > ポアンカレ球による偏光状態の表示



※王子計測機器製楕円偏光測定装置KOBRA-WPRにて測定

カスタム品

標準品の他に、硝子基板素材、形状、大きさ、厚さ等を所望の内容に設定したカスタム品のご注文にも応じます。広帯域円偏光板についても所望の偏光板と組合わせることができます。

株式会社 **ルケオ**  **luceo co.,ltd.**

〒173-0024 東京都板橋区大山金井町30番9号

30-9, Ohyamakani-cho, Itabashi-ku, Tokyo, 173-0024, Japan

<http://www.luceo.co.jp>

TEL 03-3956-4111(代) FAX 03-3956-2335

TEL +81-3-3956-4111 FAX +81-3-3956-2335